山形産業人クラブ

荒波乗り越えて

隣県・他地域と積極交流

産学官シンポや講演会など活発

山形産業人クラブ（松村英一会長＝エムテックスマツムラ会長）は、1983年の設立。東北地方の産業人クラブとしては「いわき」「福島」「宮城」に続いて4番目に発足した。県知事を囲む産官懇談会や産学官シンポジウムの開催。工場見学会、経営に役立つ各種講演会、新年会などの活動に取り組んでいる。

県知事を囲む懇談会は現在のところ、隔年で開催。県知事はじめ県商工関連の幹部を招いて、産業政策の方向性などについて意見交換を行っている。2012年7月に山形市内で開いた県知事を囲む産官懇談会のテーマは「『山形の強み』が生み出す活力ある産業の実現」。県の産業政策の方向性、有機エレクトロニクス産業の集積に向けた取り組みや産業人材の育成などについて吉村美栄子山形県知事らと意見を交わした。

県の産業の中核であるモノづくり産業の振興では、経済のグローバル化により激化する競争に勝ち抜くことが課題になっている。山形の強みでもある有機エレクトロ・ルミネッセンス（EL）関連事業など他地域に先行している技術があり、こうした強みを早期に事業化につなげようとしている。

■知事らと懇談会

■違った視点で

2013年2月に山形県上山市の「日本の宿　古窯」で開いた新春講演会では、愛知淑徳大学の真田幸光ビジネス学部長が「世界経済の動向と日本のモノづくり・地域中小企業の挑戦」をテーマに講演した。真田氏はここ数年の世界経済の動向を振り返り、基軸通貨・米ドルの行方など現行の世界経済システムの動きを独自の視点から解説した。

昨年7月に開いた県知事を囲む産官懇談会

7月の総会後の講演会では地域発のイノベーションもテーマに上った

グローバル化が加速する中で、今後の国内でのモノづくりについては「原材料の確保に気をつけなければならない。独自にチームを組織するなどの対応が必要」と指摘した。「外の目も入れて、今後の生き残りを経営者がしつこく考えていかねばならない」と強調した。厳しい時代を乗り越えて行くには、複数の企業が手を組みこれまでとは、違った視点から歩んでいく重要性を説いた。

東日本大震災から間もなく2年6カ月。東北経済は着実な回復を続けている状況。生産活動は震災前の6割台まで一時は落ち込んだが、現在は全国と同程度の水準にまで回復。山形県の鉱工業生産も一時の落ち込みから回復している。課題はこれからいかに成長を持続させていくかにある。

東北連携　産業振興のカギ

■会長再任

山形産業人クラブでは、7月に第31回定時総会・記念講演会を山形市のパレスグランデールで開いた。総会では12年度の事業報告と収支決算、13年度の事業計画と事業予算案を承認。任期満了に伴う役員改選では松村会長を再任した。総会後の記念講演では東北経済産業局地域経済部の山家一郎次長が「東北経済の動向とイノベーション創出」を演題に講演した。東北における自動車産業集積に向けた取り組みなどを示し、東北経済発展への地域モノづくり企業の事例などを紹介した。山家次長は「東北各地の大学に新たな研究開発拠点の整備も進んでいる。地域企業が連携できる仕組みづくりが課題でもある」と指摘した。

■車産業の集積進展

東北経済産業局は4月に地域経済部に自動車産業室を新設。地域企業の開発能力向上の支援を強化する体制を進めているという。自動車産業室の基本方針は、幅広い企業集積の形成、多面的な技術開発の推進、国際競争力強化のための人材育成、東北6県と一体になった立地促進の4本。自動車産業の集積進展に向けた取り組みは、東北経済産業局の掲げる中期政策の5重点分野の一つ。今後は東北6県はじめ関連機関の一層の連携が自動車振興のカギになる。

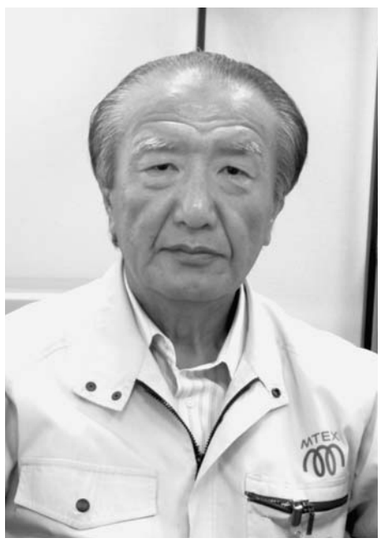
■モノづくり力結集

山形県は2016年の技能五輪全国大会・全国障害者技能協議大会（アビリンピック）の開催に向けて準備活動に入っている。山形大会は山形だけでなく東北各県が連携して東北のモノづくり力結集して、東日本大震災からの復興を全国に発信する大会の実現を目指す。モノづくり分野で東北各県の連携が強化されようとしている。こうした流れもあり、山形産業人クラブも東北の産業人クラブとの連携を一段と深めていく方向だ。

なお、山形産業人クラブにおける2013年度の主な事業内容としては、産学官シンポジウム（東北4産業人クラブ合同震災復興シンポジウム）の開催、工場など見学会および他地区との交流・懇談会（東北4産業人クラブ合同開催・宮城県内11月を予定）、新年例会、異業種交流・懇談会、第9回キャンパスベンチャーグランプリ東北の運営（東北4産業人クラブ合同）などに取り組む予定になっている。

特集・挑戦する日本の経営者たち

交流深め新ビジネス育てる



松村　英一 氏

（エムテックスマツムラ会長）

―国内のモノづくり産業を取り巻く環境が一段と厳しくなっています。

「各種の経済指標をみると、明るい要因が示される例もある。景気が上向く期待感は確かにあるだろう。しかし、地方においては景気回復の動きは実感できていない。一部には忙しいという声もあるが、大部分ではない。基幹産業でもある自動車関連に目を向けても期待感はあるが、大きな伸びは感じていないようにも思う。ただ、個々の企業では最近の為替の落ち着きが良い環境を生んでいるところもある。自動車産業はまだまだ競争力があり今後の伸びを期待したいところ。一方、半導体関連、エレクトロニクス関連産業は厳しい状況にある」

―景気の見通しは。

「為替や株価が落ち着きを取り戻してきたものの、地域経済の動向は不透明感が強まっている。これまでとは違った視点で行動することが求められているのだろう。今年を振り返れば、年初には春に回復するという期待感があった。春先になると秋には回復するという声に変化。夏になってさらに先にという声になっているように思う。現状では先行きがなかなか見通せないでいる」

―トヨタ自動車東日本（宮城県大衡村）が発足して一年が経過しました。現地調達のスピードを加速する方針ですが、山形県内企業への波及効果はありますか。

「新会社が発足後、実際に県内で部品などの継続した供給につながった事例は明確には分からない。東北の地場の企業においても新たに取引がどれだけ増えたのか。東北からの現地調達率を引き上げる方向にあるのだろうが、まだまだ地場の企業にとってはさまざまな壁があるようにも思う。壁はあるが、隣県にトヨタの新たな生産拠点があるのだから山形もビジネスチャンスは広がった。地場の企業にとってはさまざまな壁を乗り越えていく取り組みが求められているように強く感じている」

―ネットワークの輪を広げていくことも肝心ですね。

「産業人クラブの目的にも異業種交流で新しいビジネス創出が掲げられている。山形県はモノづくり基盤技術の集積が強みだが、県内企業は自社ブランドの完成品を持っているところは非常に少ない。異業種でも同業種でも交流を一段と重ねることで、新しいビジネスを育てていけるような環境を構築していければと思う」

―山形産業人クラブの今後の活動は。

「東日本大震災から間もなく2年6カ月。山形は宮城、福島の隣県として被災県をサポートすることはまだまだあると感じている。山形の隣県である宮城、福島、いわきの各産業人クラブとの交流を一層増やしていくことが、本当の意味で異業種交流にもなる。山形以外の地から産業の動向をとらえることが自社の経営にも役立つ。宮城や福島からの別の視点で見ると、例えばトヨタの動向も違って見えるようだ。先が見えにくい時代。違ったモノの見方を取り入れていくことが大切だ。もっと他地域との交流をしていきたい」

会長インタビュー

JUST　めっき・表面処理　ダイヤモンド電着
ジャスト株式会社
代表取締役社長　岡崎　淳一
〒999-3103　山形県上山市金谷字下河原1360
TEL（023）673-5125㈹　FAX（023）673-5189
http://www.yamagata-just.co.jp

超精密金属機構部品製造
半導体から航空機まで
米沢放電

Industry Members Club
新会員募集中!!
●地域産業経済の発展のために!!
●経営・技術情報収集の場に!!
●異業種交流の場に!!
山形産業人クラブ
〒990-0043　山形市本町二丁目1番2号　日刊工業新聞社 山形支局内
TEL（023）631-8932　FAX（023）631-8797

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献
私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。
JQA-QMA10902　JQA-EM1542
事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき・化成処理部門
■塗装部門
尾長島工場
スズキハイテック株式会社
本社・工場／〒990-0051 山形市銅町2-2-30　TEL.023(631)4703
尾長島工場／〒999-0213 川西町大字尾長島740-12　TEL.0238(54)3615

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造
空気圧トルクアクチュエーター
半導体製造装置部品
株式会社 伊藤製作所
代表取締役社長　伊藤　明彦
本社・工場
〒990-2445　山形市南栄町一丁目5番16号
電話　023-642-0255
FAX　023-641-6996

GET good Future with CS
半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。
Yes, We can!
お客様とともに未来を築く
エムテックスマツムラ株式会社
●本社・天童事業所
〒994-8501　山形県天童市北久野本1-7-43　TEL023-654-3211㈹　FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231　山形県尾花沢市北町2-2-2　TEL0237-22-1151㈹　FAX0237-22-1150
●福岡営業所
〒810-0001　福岡県福岡市中央区天神1-9-17 福岡天神フコク生命ビル15F　TEL092-717-3923
〈関連会社〉㈱新庄エレメックス／エムソフト㈱
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD